

## 感想・気づき

岩瀬正俊

私が原田メソッドを知ったのは、2017年11月初旬でした。厳しい環境の中で、何度も日本一の目標を達成している生徒の姿は、いつも目標未達で自分と所属部署を誤魔化してきた私にとっては、ありえないお話でした。目標を定め自分と廻りを巻き込んで、自信を維持して盛り上げて、目標を必達する技術があるならば、ぜひ学び、自分のみならず、家族や孫、友人、商店街の人口に学びを広げてみたいと感じて、2017年11月中旬に申し込みました。

その後、12月には公開講演会の音声を聴き、また、日誌のウェブセミナーを受講した。なるほど、日誌の取り組みによって仕事の優先が決まり、無駄な時間をなくすることで業務効率も、目覚ましく向上しました。日誌の力がこれ程ならばと、冬休み中にOW64や理念、長目に取り組み、自分が定年退職を迎える約2年間の目的・目標を描くことが出来ました。

この長目からルーテンキエック表を記入して2月の初めには、長目の添削を返送して頂きました。そんな頃、第2期公開講座への参加機会に恵まれて、4回の講座をすべて出席することができました。同席させて頂いた方々には、快くお話を頂き、同じ目的で高いモチベーションを保ちながら学びを深めることができました。特に知の共有としてミーティングする中でスロークのシャワー・ルーブリック12の力の向上・ペアワークの要領・添削のポイント等々とプロのワークとして必要なスキルを学び、講座申込み時点の自分とは一味も違う、まさに主体変容できたと感じています。

「目標達成は、技術」であり、今回の講座を通してうながりのある3枚の長目を書かせることで、これでもう技能レベルにできたと確信しています。

こうして、的と距離は測定済みで、残るは実行あるのみです。原田先生と認定講師の皆様、事務局の皆様、そして、同席頂いた皆様、ありがとうございました。